

▼ニトプロ持続静注液 [注]

【重要度】★★ 【一般製剤名】ニトプロシドナトリウム (U) Sodium Nitroprusside 【分類】血圧降下剤

【単位】▼6mg/A [2mL]・▼30mg/A (10mL)

【常用量】0.5 μ g/kg/min で開始し血圧をみながら 2.5 μ g/kg/min 以下で維持 [最大 3.0 μ g/kg/min]

【用法】点滴静注 [5%ブドウ糖で希釈]

【透析患者への投与方法】尿量のある患者では腎循環が抑制されるため禁忌 (1) だが無尿患者では減量の必要はない (3,10)

【その他の報告】避ける (12)

【PD】避ける (12)

【CRRT】減量の必要はないが用量調節して使用 (12)

【保存期 CKD 患者への投与方法】重篤な腎不全では腎循環が抑制されるため禁忌となっているが減量の必要はない (3,10)

【その他の報告】GFR 10mL/min 未満では避ける (12)

【特徴】静脈と細動脈の両方を拡張させ確実な降圧作用を示す。光に極めて不安定な欠点を改良した製剤。降圧効果は強く・速やかに発現し、投与中止により降圧効果は速やかに消失する。主代謝物 cyanide が CYP やビルビン酸代謝を阻害し代謝性アシドーシスを引き起こすことがある。心拍数は軽度増加し、血小板凝集は抑制される。

【主な副作用・毒性】過度の低血圧、中止した場合に急激な血圧上昇等のリバウンド現象、代謝性アシドーシス、私案中毒

【モニターすべき項目】血圧、血清重炭酸濃度

【代謝】血漿および細胞外液中にある SH 化合物などの還元性物質により非酵素的に代謝されてシアンを遊離する。大部分の血漿中のシアンは肝のロダネーゼにより毒性の低いチオシアンとなり、一部は赤血球中でメトヘモグロビンと結合して毒性の低いシアノメトヘモグロビンとなる (1)

【排泄】大部分が尿中排泄 (11) thiocyanate は肝腸循環する (11) 尿中回収率 41% [ラット] (1) 【CL】56.3mL/kg/min (1)

【t1/2】62 秒 (1) 投与終了 7 分後には血漿 SNP は検出されない (1) 循環血中で 2min, thiosulfate 20min, thiocyanate 3 日 (U) thiocyanate の t1/2 は腎不全で 2~3 倍に延長する (U)

【蛋白結合率】84% (1)

【Vd】107.6mL/kg (1)

【MW】297.95

【透析性】チオシアンは透析性がある (12)

【相互作用】PDE5 阻害剤、sGC 活性化剤との併用禁忌 (1) ビタミン B12 欠乏、動・静脈シャントの降圧、肝障害時には禁忌 (11)

【更新日】20211007

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。